

—— おおたけ ——

市議会だより

OTAKE CITY

No.170

2012
(平成24年)

8



- ◆第2回市議会（定例会） 2ページ
- ◆一般質問 4ページ
- ◆陳情・審議結果表・議会日誌 9ページ
- ◆あしがき 10ページ

玖波小学校児童によるヒラメの稚魚放流

平成24年
第2回市議会（定例会）

会期 6月7日～19日

会期中に、条例案4件（原案可決）、補正予算案1件（原案可決）、人事同意案1件（原案同意）、報告7件、承認2件（原案承認）、契約2件（原案可決）、その他2件、陳情1件（継続審査）の議案審議等を行いました。

総務文教委員会に
付託された議案

●平成24年度大竹市

一般会計補正予算（第1号）

・6千万円増額

小方小・中学校の移転改築に伴う教育備品購入費を計上し、財源は小方財産区からの繰入金金を充当するもの

Q 小方小・中学校と他の学校との情報機器の学習格差について問う。

A 新しいよいものをつくって、他の学校もそれに追従していきたい。

Q 備品購入の入札で安くなった場合には、他の備品の購入も考えているのか問う。

A 財産区にお願いした経緯からすれば、他の備品は購入できない。入札残で他の備品を購入する場合には、財産区にまたお願いすることになると思う。

●工事請負契約の締結について
（給食センター建築主体工事）

・2億685万円

●工事請負契約の締結について
（給食センター機械設備工事）

・1億2千148万5千円

●財産の取得について

（給食センター厨房機器一式）

・2億1千万円



小学校での昼食（給食）



中学校での昼食（弁当）

Q 本3件では、入札公告の中に、「第三者に請け負わせる場合は、できる限り地元業者の利用を図ること」とあったが、地元業者の利用について問う。

A 小方小・中学校の建設における市内業者の下請けについては、はっきりとした実績はでない。市としては指名競争入札や分割発注を行い地元業者の育成を図っている。

Q 厨房機器を落札した業者は、アフターサービスの面から、運営業務の入札で有利になる点について問う。

A 運営業者の選定方法については今後協議していく。落札業者がそのまま運営するというものではない。

その他付託された議案

●大竹市事務分掌条例等の一部改正について

【反対討論】

○「センター方式より自校方式の方が、各校においてきめ細かな献立・調理が容易である。また、国の政権が変わっても、民営化・合理化の流れは変わっていない。」

【賛成討論】

○「各学校給食施設の老朽化、保護者からの要望の高かった中学校給食の実現等であり、センター方式で心配される食育等への不安材料の解消取り組みに期待する。」

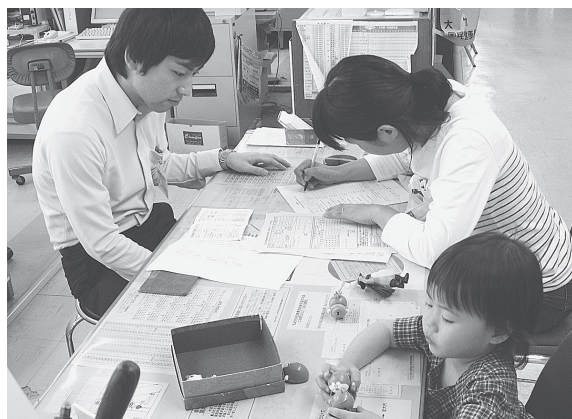
※採決の結果、原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決

生活環境委員会に 付託された議案

●大竹市ひとり親家庭等医療費支給
条例の一部改正について



保健介護課窓口（議案と写真は関係ありません）

Q ひとり親家庭の年少扶養控除等
を現行どおり控除していこうとして
いるが、背景や影響を問う。

A ひとり親家庭の認定には所得制
限があり、国税の所得税額がゼロの
方は認定しているが、税額がある方
は認定できない。平成23年から年少
扶養と特定扶養が見直され、所得税
が課されると認定ができない。従前
どおり認定するための改正である。

●市道路線の認定について

Q 開発行為に基づき問題ない構造
になっていると思うが、上下水道も
含め市道として管理することに問題
はないのか問う。

A 申請時に都市計画法第32条に基
づき、将来の道路管理者と協議し同
意を得ている。問題はない。



新設された御園6号線・7号線

●広島県都市計画大竹市地区計画の
区域内における建築物等の制限に
関する条例の一部改正について

「大願寺地区」を市街化区域とし
たことに伴い、大願寺地区を「住
宅地区」と「学校地区」に区分
し、建築物の用途制限をしたもの

Q このような規制をかけることの
判断は何を根拠にしているのか問う。

A 大願寺地区に関しては地区計画
で整備方針等を定めている。住宅地
区は良好な住宅環境を確保すること
としており、それに基づき地区計
画、用途地域、建築条例の中で規制
がかけられることになる。

Q 昨年の委員会では、9月頃から
住宅地を販売し、学校ができるまで
に10軒程建設される予定とのことだ
あったが、進捗状況を問う。

A 開発行為の許可が下り次第、工
事に入ると伺っている。

●大竹市税条例の
一部改正について

①市民税について

所得が公的年金のみの者が寡
婦控除を受ける場合は申告不
要とするもの

②固定資産税について

下水道法に規定する公共下水
道を使用する者が設置した除
害施設に対して講じている特
例措置を3年延長するもの
(例えばpH調整槽等)

Q 現状で施設の対象物件や、改正
による財政上の影響などを問う。

A 現在適用している物件はない。
今後、新規設備に関して対象物件が
でてくれば、この特例率を適用す
る。

※採決の結果、原案のとおり可決

本会議へ

本会議での採決の結果
原案のとおり可決

一般質問

一般質問とは？

議員が、執行機関（大竹市長など）に対し、事務の執行状況や将来に対する方針など市政全般にわたり質問をすることです。定例会においてのみ一般質問ができます。

質問者 山本 孝三

社会教育施設について問う

施設の再編を進める中で優先度も踏まえて取り組みます

問 大竹会館・玖波公民館・栄公民館など、施設の老朽化、耐震強度に欠けるものなどがほとんどです。

これらの施設は、災害時の避難場所に指定されています。

第五次総合計画の中でも、前期5カ年計画の中でも、具体的ではありません。優先すべき課題でしょう。



玖波公民館

答 社会教育施設などの資源を有効に活用し、効率的な運営を図るため、施設の再編を進めていきます。今年度中に各施設の方向性の検討に入りますので、方向性が決定次第実

施スケジュールなどを整理していくことになります。現在取り組んでいる避難施設の見直しの中で、優先的に改修が必要と判断されれば早急に着手する場合があります。

介護保険制度について問う

サービスを確実に提供できる

よう事業者を募集します

問 制度改正による介護保険加入者の負担増・給付の切り下げなどの心配や不安が広がっています。

市の介護保険事業3カ年計画の中で、特別養護老人ホームやショートステイなどの施設の新設の時期、24時間いつでも介護・看護のサービスの説明を求めます。

答 小規模特別養護老人ホームは、過去2度応募者がなかったため、ショートステイの施設を合わせて整備できるよう市の事業計画に盛り込みました。確実な整備に向けてできる限り早く公募したいと考えています。

介護保険法改正に伴う「定期巡回・随時対応サービス」は、日中夜間を通じて訪問介護と訪問看護を連携させながら、定期的あるいは随時に短時間の訪問を行うものです。本サービスについては、今年8月をめどに事業者を募集する予定です。

質問者 児玉 朋也

三井化学(株)岩国大竹工場

爆発事故を受けて

不測の事態に備えて、近隣市町や
関係機関との連携を図ります

問 災害が発生した場合、直ちに調査員を現地に派遣し、各関係機関と協力し迅速かつ正確に状況調査を実施する必要があると思います。また県に対して速やかに災害発生報告、被害状況報告等を行うべきです。今回の爆発事故の情報収集・伝達・連絡・広報活動などについてお聞かせ下さい。

災害発生後速やかに小瀬川沿いでガス検知を実施されております。このような迅速な対応は市民の信頼を厚くするものと考えます。一方で約40年前より三井化学(株)岩国大竹工場に保管されている劣化ウランの存在を周辺自治体は把握していませんでした。「南海トラフ」を震源とする地震の被害想定が大幅に見直されております。劣化ウラン保管管理についてどのようにお考えですか？

答 爆発事故発生後、和木町役場を含めた関係機関と連絡を取り合うことで、情報収集しました。



大竹消防署のガス検知器(左)と放射線測定器(右)

また、事故発生後の午前2時48分から、消防の広報車と警察のパトカーが連携し、主に小瀬川左岸沿いの屋外にいた住民に対し、「有毒ガス漏えい等の可能性もあるので屋内退避」等の注意喚起を行いました。

防災行政無線は、市内でのガス検知及び放射線測定結果に異常が無かったため、緊急性は無いと判断し、午前7時28分に市内一斉放送を実施しました。広島県に対しては午前3時30分に情報提供しています。劣化ウランを含む廃棄触媒は、現在の法律では国内に処分場が無く、なお、当分の間は、文部科学省と国際原子力機関の定期的な査察等を受け、安全性を確認しながら、各事業所で厳重な保管・管理が継続されるところと考えています。

質問者 藤井 馨

小方小・中学校の

跡地利用について問う

幅広い意見をいただきながら、
十分に考えて進めていきます

問 小方小・中学校が移転されます。新しい学校で勉強できる楽しみと、初の試みである小中一貫校や、安心安全な通学路の確保、そして、遠方からの通学問題等については行政の万全の取り組みをお願い致します。跡地利用については、実施計画の中に小方新駅設置計画と、公共用地ではなく民間への売却を基本に検討するとありますが、どのような開発でしょうか。スピーディーな取り組みが大切です。

小方地区自治会から公園設置の陳情書が出されました。この地区は、長年住み慣れた人々がバラバラになりました。まちづくりは、市民との協働が必要です。公園活用で人材育成が出来、土地は残ります。このような観点から公園設置について市長のご英断をお願いします。

答 小方小・中学校の跡地利用については、JR小方新駅や公園など、公益性の高い利用が決定した場合には、公共用地として一般会計が買い

取った後に、残地部分を民間売却することになりますが、小方小学校跡地とJR小方新駅との関係については、新駅の形状・規模など具体的な姿の想定がなされていないため、現時点では不透明です。

陳情のあった公園については、今後全体的な方向性を検討する中であわせて考えていきたいと思いますが、小方地区は晴海臨海公園という広大な公園もあるため、市民全体の公平の観点から、他の公園の少ない地区への配慮も必要と考えています。

今後の方向性については、議会や地元の市民の皆様からの幅広いご意見をいただきながら、十分に考えて、一步一步確実に良い方向へ進めていきたいと考えています。



平成25年4月で移転する小方小学校

質問者 日域 究

現児童館を見直し、
本来の児童館を作ろう

児童の中核的な居場所作りに
ついて今後検討します



岩国市にあるこども館

問 阿多田児童館は、実態はへき地
保育施設です。県内で児童館をその
様な形で使っているケースは今は無
いそうです。しかも市にも運営を請
けた社協にも、保育施設として使用
する旨の文書は存在しません。

不明朗な社協への委託をやめ、阿
多田児童館は市直営の認可外保育施
設とし、大竹市の子育て世代もお世
話になっている岩国市のこども館の
様なものを市中心部に作りませんか。

答 本市の児童館は主に特定の地域
の保育の代替機能として使用されてお
り、管理運営は、地元関係機関等と緊
密な連携を確立している社会福祉協議
会を指定管理者としています。

広く一般の児童を対象とした児童
館は、現在市内にはありませんが、

「健全育成を図るための児童の中核
的な居場所づくり」は平成22年度に
策定した大竹市次世代育成支援行動
計画の後期計画にも掲げられています
ので、今後検討したいと思います。

防災無線落雷に関して

非公表の情報は

防雷・耐雷の機能強化に

取り組んでいます

問 昨年9月に被災し未だ完全復旧
していません。時間がかかる原因の中
に公表されていない重要な情報はあり
ませんか。口コミ情報だけが流れ出る
のでは文明国とは言えません。

答 無線の機能回復を最優先に修理
を行い、その後、設備の損傷は落雷
による想定外の過電圧が原因である
と判断されたため、設備の防雷・耐
雷機能を強化する施工や機器の選定
について協議を重ね、現在、改修に
向けた取り組みを進めています。な
お、損害保険については、当初、本
設備に瑕疵担保以外の原因による障
害が発生しないものとの認識により
加入しておりませんでした。事故
後より確かな安心安全のため、建物
総合損害共済に加入いたしました。

質問者 山崎 年一

保育所の大願寺移転と

民営化を問う

公立保育所の再編見直しの中で
検討していきます



立戸保育所

問 大願寺開発企業は、「事業計画」
で保育所の整備を挙げています。園
児の定員不足で、新設は難しく統合
と民営化が想定されます。大願寺地
区に保育所設置を予定されますか。
民営化計画も問います。保育所は「門
から門まで」が保護者の責任です。
大願寺移転では「保育所あって保育
なし」です。

答 公立保育所を残すという前提
で、保育所の再編見直しを検討してい

ます。現時点では、小方ヶ丘に保育所
を移転することについては確定してい
ません。保育所再編の基本方針を示し
た後に再編計画を策定していきます
が、具体的な建設予定地については、
小方ヶ丘の用地も含めて今後検討して
いきたいと考えています。

劣化ウラン貯蔵と

大竹市の対応を問う

三井化学(株)爆発事故対策協議会を
通じて、国・県に働きかけていきます

問 劣化ウランの貯蔵は住宅地から
40mです。当面海側に移動させ住民
の安全対策をとるべきです。米軍機
は飛行経路を特定しません。空母艦
載機の離着陸訓練の可能性もありま
す。事故に対応するため和木・岩国、
山口・広島両県と連携しウランの移
動を国に要請するべきです。

答 劣化ウランを含む廃棄触媒等の
最終処分地は、現在国内に存在しま
せん。市民の声を伝えるため、三井
化学(株)爆発事故対策協議会等を通じ
て国・県に働きかけていきたいと考
えています。

質問者 原田 博

第五次大竹市総合計画
実現に向けたプロセスを問う

わがまちプランを事業に
活かす工夫をしています

問 この計画は、大竹市総合計画審議会などを中心とした様々な立場、活動を通じ、策定に至ったもので、重みがあります。

更には、総合計画審議会答申書には、特に配慮すべき事項として、市の財政基盤を支える工業振興など、14項目に上る重要な提言があります。これらの確実な実行に向けての対応プロセスを問います。

また、総合計画わがまちプランでは、「よいまち」の実現に向けた基本目標の一つとして、働く場所が増えることを目標に地域産業の充実、拡大を目指すとして明記されています。工業振興に関する市の取り組み、姿勢を問います。

答 審議会からの特に配慮すべき事項は、真摯に受け止め、できる限り前期基本計画に活かしてきました。わがまちプランを事業に活かす工夫として、広報やホームページを利用して周知に努めています。また庁内では、予算編成作業を意識した新し

いPDCAサイクル「事業の総点検」を実施し、その中でわがまちプランの基本理念やまちづくりの基本目標を意識した事業の展開ができるよう協議しています。

「産業基盤の整備」は、前期基本計画の重点取組方向の一つであり、産業の発展や就業機会の拡大を図る大きな役割を果たしている製造業を中心とした工業を活性化していくことは市の大切な使命と考えています。市は、これまでに大竹港の整備を始め、産業振興奨励事業や中小企業融資事業など様々な事業を展開し、工業振興を図っているところです。



大河原山から工場地帯を望む

質問者 寺岡 公章

「地域」という言葉について

定義はありませんが、市民に分かりやすく説明をしていきます



実際の街並みには線がひかれているわけではありません

問 「地域」という言葉を聞きます。私自身もこれまで漠然とこの言葉を使ってきました。「地区」という言葉との使い分けも、どうも不明瞭に感じます。この機会に、行政が一貫性を持って考えている「地域とは何か」というご説明をお願いします。

答 「地域」や「地区」という言葉については、行政で一貫した定義を持つて使っていないのが現状です。市としては、ある範囲に住んでいる人まで含めたときに地域ということが多いです。厳格に言葉の定義づけを行うことまでは考えていません

が、市民自治を進めるにあたり、意識を持って市民に分かりやすい表現ができるよう心がけたいと思っています。

市役所のメールアドレスの
管理について

パソコンの安全性を保つための
対策の一つです

問 本市のホームページには、どこにもアドレスの表示がありません。特定のフォームから問い合わせや意見を書き込んで送信します。他の市町では、本市と同じ方式の他、トップページへのアドレス表示など様々です。本市のメールアドレスの管理方式の根拠をお示しください。

答 ホームページ上にメールアドレスの表示をしていない理由として、昨今の情報通信手段の発達に伴い、ウェブ上にあるメールアドレスが収集されることで大量の迷惑メールが送信されたり、コンピュータウイルスを忍ばせたメールでパソコンをウイルスに感染させ、パソコンが操作不能に陥るなどの恐れがあるためです。市役所内のパソコンを安全に保ち情報漏えいを防ぐためにも、ウイルス対策ソフトの対応だけでなく、できる限りの対策をする必要があると考えています。

質問者 大井 渉

学校統廃合の話し合いと
跡地の解体計画は

学校統合・跡地利用について
地元との話し合いを進めていきます

問 小方小・中学校、栗谷中、穂仁原、阿多田小学校の解体計画、避難場所としての地元住民への説明、松ヶ原小学校の跡地利用計画などお聞きします。JR小方新駅設置の整合性も併せてお聞きます。

答 現在の計画では、小方小、小方中、阿多田小、栗谷中学校のうち耐震性に問題のある建物の解体を予定しています。JR小方新駅は時間がかかるとはいますが、前向きに考えたいと思っています。

避難場所の見直しは説明会のお伝えしていきます。旧松ヶ原小学校は、自治会とも話をしながら地域振興を含めて考えます。

市長自身の6年間の評価は

評価は後年色々な方が
してくださると思っています

問 市長在任6年間の評価について、ご自身と、市民の評価、また残

り任期の最重要課題への取り組み、優先順位などをお聞かせください。気がかりは、ほとんどチャンスがない町になったような気がします。

答 縮小均衡による沈んだまちなならないよう、すべき事業はきちんと行い、過去の大きな宿題を片づけたがらも、市債を減少させました。6年間に実施した主な事業は、大竹小学校、小方小・中学校の建て替え、地域公共交通、妊産婦健診費の支援、乳幼児医療費助成拡大などです。わがまちプランは計画どおりに進めたいと思いますが、特に大竹を愛する人づくりに取り組みたいと思います。



小方小学校運動会

質問者 乃美 晴一

爆発事故への対処は
問題ありませんでしたか

課題に対して必要な見直しを
検討しています

問 4月22日深夜に発生した三井化学株岩国大竹工場の爆発事故において、本市の対応は十分なものであったとはいえません。石油コンビナート等防災計画における県境をまたぐ問題点が数多く見受けられ、本市の情報収集に遅れが生じたことは残念でなりません。また、市民への情報発信にも課題を多く残しました。

今後、対応を検証されていく中で、本市の課題、県の課題を整理し、関係計画を見直していかなければなりません。具体的な対応方法について伺います。

答 このたびのコンビナート災害は、地域が県境をまたいでいたため、行政間の情報伝達や連携が十分でない点がありました。また、本年4月に岩国・大竹地区特別防災区域協議会が策定した災害後の初動対応マニュアルによる、災害発生事業所での現地連絡室設置も、今回のように、実際に連絡をとりにくい場合もありますので、今後の対応を関係機



爆風により破壊された窓（南栄3丁目）

関で協議する必要があると考えています。

住民避難対策については、特別防災区域の事業所が作成する、火災・爆発・有毒ガス漏えいなどが各事業所で発生した場合の被害想定シミュレーションを広島県の石油コンビナート等防災計画に反映するよう働きかけを行っています。

また、現在、本市では、風水害や地震に対するマニュアルを策定し、運用していますが、コンビナート災害に対するものはありません。今回の事故の対応については、風水害のマニュアルを準用して行いましたが、今後は、コンビナート災害に対する市職員の災害対策マニュアルについて、早急に検討し、策定する必要があると考えています。

請願・陳情・意見書

【生活環境委員会付託】

●「地域の安全・安心を守り住民本位の公共事業を推進するため、地方建設業界の安定的な維持と国の責任ある体制」を求める意見書採択について

陳情者

・継続審査・

築地孝弘氏外3団体

【まちづくり対策特別委員会付託】

●小方小学校移転跡地に「公園」設置について

・継続審査・

陳情者

小方二丁目南自治会

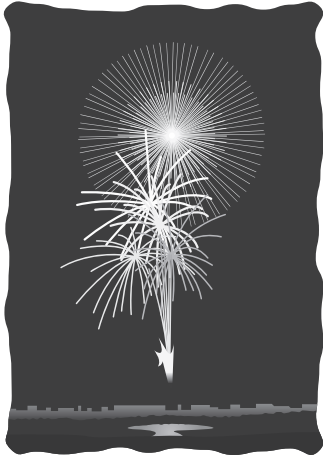
会長 戸川寛利氏外6名

小方一・二丁目北自治会

会長 越水敏弘氏外6名

小方二丁目自治会

会長代行 三好大海氏外6名



第2回市議会（定例会）議案の審議結果表（主な議案）

	議 案 な ど	西川健三	大井 渉	網谷芳孝	藤井 馨	乃美晴一	児玉朋也	北林 隆	山崎年一	細川雅子	日域 究	上野克己	寺岡公章	原田 博	二階堂博	田中美穂	山本孝三	審議結果
議案第42号	平成24年度大竹市一般会計補正予算（第1号）	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	工事請負契約の締結について（給食センター建設工事（建設主体工事））	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第44号	工事請負契約の締結について（給食センター建設工事（機械設備工事））	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第45号	財産の取得について（給食センター建設工事に伴う厨房機器一式）	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 一：議長 ○：賛成 ●：賛成でない

議会日誌・議会来訪

5月11日	広報広聴特別委員会
5月17日	安心安全対策特別委員会
5月18日	まちづくり対策特別委員会
〃	議員全員協議会
5月23日	全国市議会議長会第88回定期総会（東京都）
5月24日	石油基地防災対策都市議会協議会総会（東京都）
5月25日	生活環境委員協議会
〃	総務文教委員協議会
5月29日	議会改革調査会
〃	広報広聴特別委員会
5月31日	議会運営委員会
〃	広報広聴特別委員会
6月7日	本会議
6月8日	本会議
6月11日	総務文教委員会
6月12日	生活環境委員会
6月13日	岩国大竹道路対策特別委員会
〃	まちづくり対策特別委員会
6月14日	安心安全対策特別委員会
〃	議会改革調査会
6月19日	本会議
6月21日	青森県藤崎町議会来訪（調査先 大竹小学校）
6月22日	広報広聴特別委員会
〃	佐伯郡地方振興財団評議員会

訂正とお詫び

前号議会だより（5月号）

◆P7 写真

（誤）白石二丁目筋トレ教室

（正）白石二丁目筋トレ教室

◆P14 山本孝三議員の一般質問

（誤）給食センター民営化の影響は

（正）国保事業の広域化について

に訂正いたします。

関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。



まちのできごと



ストーンアート麒麟(市役所前庭)



小方小・中学校建設中(H24.7.12 現在)

あとかき

長い梅雨が明けた途端、暑い夏がやってきました。暦では7月22日が大暑、7月27日が土曜の丑の日でした。今年は、シラスウナギの漁獲が少なくウナギの価格が高騰しました。皆様はウナギの味を楽しむことができませんでしたでしょうか。

小方ヶ丘(大願寺)の小方小・中学校建設現場では、日に日に校舎の姿が整い、来春4月の開校に向け工事が順調に進んでいます。グラウンドを挟んで北隣には並行して給食センターが建設されます。鉄骨平屋建てで事業費は約8億7千万円です。調理能力は2200食で、各学校に配送される予定です。また、施設は災害時にも対応できるように考えられており、本年度中に大きな事業が次々に完成します。

さて、広報広聴特別委員会では市議会だよりを皆様方に読みやすくより親しんでいただくために8月号編集にあたり、検討を重ねた結果、一般質問の中に写真(イラスト)の掲載を取り入れることを決めました。写真は一般質問に関連したものと

し、質問者が準備することになりました。写真を掲載する分、文字枠は少なくなりましたが雰囲気が変わりました。ご愛読ください。
8月7日は立秋ですがしばらく猛暑が続きそうです。十分水分を取り、熱中症にご注意ください。

広報広聴特別委員

乃美 晴一 児玉 朋也
網谷 芳孝 藤井 馨
北林 隆 山崎 年一
日域 究

ケーブルテレビで議会中継が視聴できます

チャンネル(112)合わせ方

① 電子番組表から選局する

または

② リモコンの

地上 11 わをん



を順に押す!

市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。